



# 大西さとし 市議会だより

2017.10  
No.026

## 高松市議会 平成 29 年 第4回(9月)定例会の報告



### ◆第4回(9月)定例会

高松市議会は、9月6日から9月21日までの16日間の日程で平成29年第4回定例会(9月議会)を開催し、平成29年度一般会計補正予算など21議案を可決し、議員提出議案2件を否決しました。

また、陳情1件を不採択とし、人事案件4件に同意したほか、平成28年度一般会計決算など5件を継続審議としました。

### ◆高松市公共施設再編整備計画(策定中)

本市では、これまで小・中学校や福祉関係施設、庁舎など、多くの公共施設を建設してきており、また、平成17年、18年の市町合併により、庁舎をはじめとした多くの公共・公用施設を有しております。

一方、少子・超高齢社会が進展するとともに人口減少社会を迎え、これら施設の効率的な活用が課題となっています。

これら公共施設等は、今後、その多くが高度成長期からバブル期にかけて整備されたもので、建て替え等が一時期に集中することが予想されるため、これらの財政負担を軽減し、かつ平準化する必要があることから、以下において取り組みを進めております。

#### ○高松市ファシリティマネジメント推進基本方針(平成24年9月策定、平成26年4月改正)

- ・既存施設を有効に活用しつつ、適正な維持管理・長寿命化を図るとともに、建築物の維持管理費の縮減や保有総量を最適化する取組が必要不可欠であることから、その基本的な考え等を示した「高松市ファシリティマネジメント推進基本方針」を策定。

#### ○高松市公共施設長寿命化指針(平成27年3月)

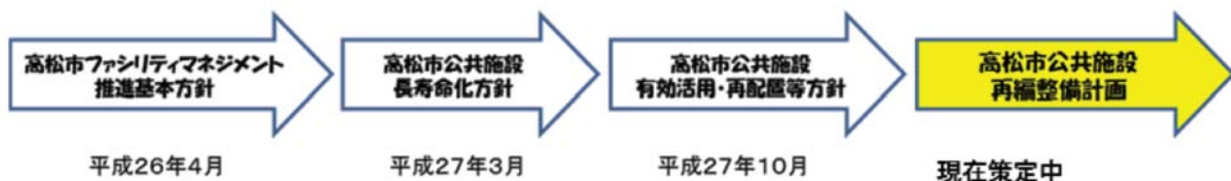
- ・高松市ファシリティマネジメント推進基本方針の取組内容を踏まえ、本市が所有する一般建築物(既存建築物だけでなく、新築、改築等の場合を含む)について、施設をできるだけ長く適切に使用するために、「目標使用年数の設定」や、「在るべき状態とその実現のための考え方」や、「施設を長寿命化する場合の目標とする性能」、「維持管理に当たっての基本的な考え方」などを定め、新築においても長寿命仕様による整備を基本とするなど、施設長寿命化等の取組の推進を図ることを目的とする「高松市公共施設長寿命化指針」を策定。

#### ○高松市公共施設有効活用・再配置等方針(平成27年10月)

- ・高松市ファシリティマネジメント推進基本方針に基づき、本市の公共施設の統廃合、複合化、再配置等に関する基本的な考え方を定め、「公共施設の総量」、「配置等の適正化」の推進を図ることを目的とする「高松市公共施設有効活用・再配置等方針」を策定。

#### ○高松市公共施設再編整備計画(現在策定中 平成28年度～30年度で策定)

- ・高松市公共施設有効活用・再配置等方針に基づき、ファシリティマネジメントの取組効果の早期発現を目指すため、本市の公共施設の個別具体的な方向性を決定し、公共施設の総量、配置等の適正化を図るものであり、平成28年度策定分を1次とし、以降2次、3次と策定を継続。
- ・具体的な実施については施設ごとに「再編整備実施計画」を策定し、再編整備に取り組む。



これからも、市民の皆様が、夢や希望を抱き続けることが出来るよう、全身全霊で取り組んで参る所存でありますので、引き続きのご支援、ご協力、また叱咤激励を賜りますようお願い申し上げます。

大西 智

# 平成 28 年度 決算 見込みの概要

## 1. 一般会計の概要

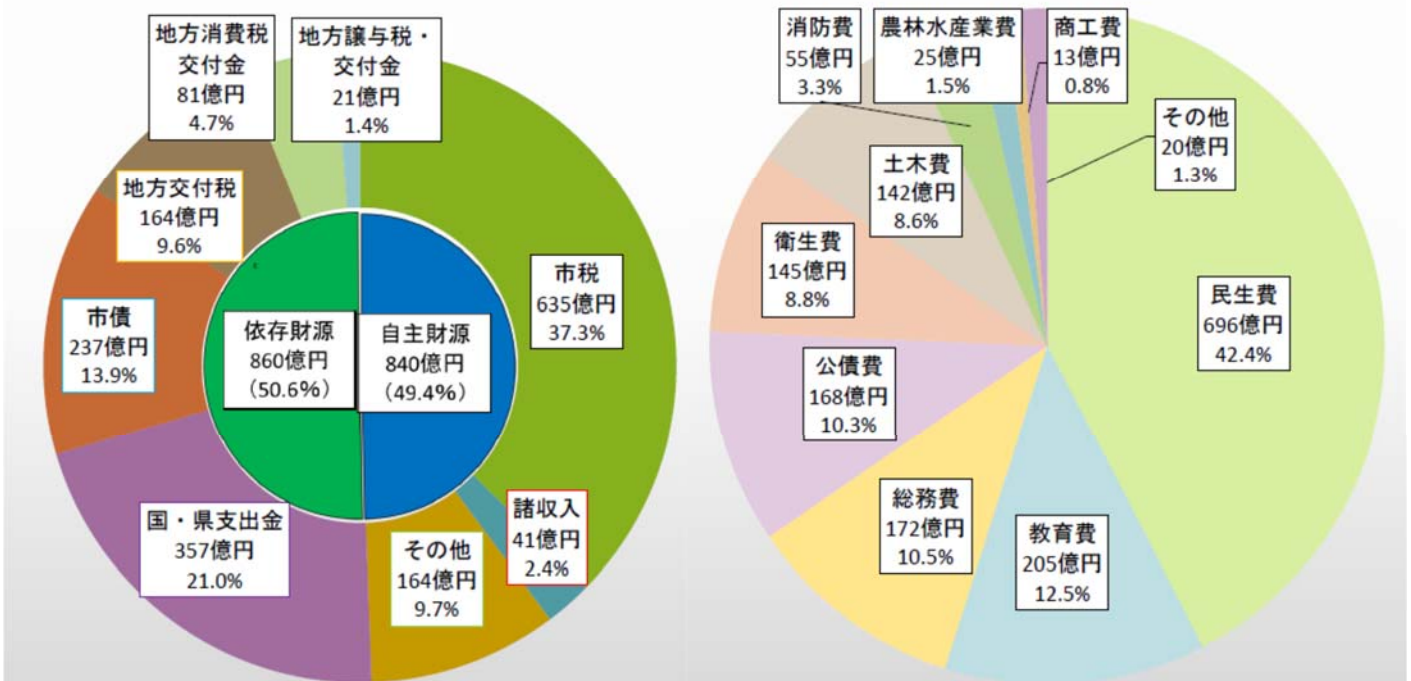
- 平成 28 年度の一般会計歳入決算総額は約 1,700 億円で、前年度に比べ 4.0%の増、歳出決算総額は約 1,640 億円で、4.6%の増。
- 歳入総額から歳出総額を差し引き、そこから翌年度へ繰り越す事業の財源を除くと約 38 億円の黒字。

### <歳入>

総額：1,700 億円

### <歳出>

総額：1,640 億円



## 2. 一般会計の特徴

- 決算規模は、歳入、歳出ともに過去最大規模  
(H27: <歳入> 約 1,634 億円、<歳出> 1,567 億円)
- 実質収支は、約 38 億円の黒字  
(H27: 約 49 億円、H26: 約 38 億円)
- 単年度収支は、約 12 億円の赤字
- プライマリーバランスは、約 8 億円の赤字 (13 年ぶりの赤字)  
(H27: 約 35 億円、H26: 約 34 億円)
- 市債残高 (臨時財政対策債を除く) は、前年度末に比べ約 54 億円増 (2 年連続増)
- 財政対策基金残高は、前年度末に比べ約 29 億円の減

## 3. 特別会計の概要

- 競輪や介護保険事業など全 9 会計。全体で収入済額から支出済額を差し引き、そこから翌年度への繰越し財源を除く実質収支は約 17 億円の黒字。

<歳入> 約 1,113 億円

<歳出> 約 1,095 億円

## 平成 29 年度 9月補正予算の概要

- 高松空港の運営の民間委託に伴う出資や、多肥小学校校舎等の建設など、政策課題に取り組むもの
- 国・県が施行する建設事業に係る地元負担金や、国の補助認証等に対応するもの
- 諸般の事情から、特に補正を必要とするものについて、それぞれ措置又は補正

### 1. 政策課題に対応するための事業の実施 (約 5.9 億円)

- ・保育所施設整備費（川島地区幼保一体化施設整備に係る土地造成工事等の実施）
- ・高松空港特定運営事業出資金（高松空港の運営の民間委託に伴う出資）
- ・多肥小学校校舎等建設事業費（多肥小学校の校舎増築工事等の実施）
- ・校舎整備費（高松第一高等学校の音楽ホールの天井改修の実施）など

### 2. 補助認証・制度の創設に伴う事業の実施 (約 1.0 億円)

- ・老人福祉施設整備事業補助金（有料老人ホームのスプリンクラー設備の整備等に対する補助）
- ・私立保育所事業等補助金（保育支援者を雇用している私立保育所に対する補助）
- ・消防団員被服費（消防団の高機能装備品の整備）など

### 3. 当初予算編成後における情勢変化への適切な対応 (約 0.4 億円)

- ・放課後児童クラブ管理運営費（民間の放課後児童クラブの運営費補助）など

### 4. 県施行建設事業等に対する地元負担金の措置 (約 4.4 億円)

- ・国、県が29年度で実施する事業に対し、地方財政法等の規定に基づき、地元負担金を措置するもの

### ●9月補正の規模

- ・一般会計補正額は、政策課題に対応するための事業費の補正などにより、約 11.7 億円の増額補正

区分	補正前	補正額	補正後	(百万円・%)	(百万円)
				当初予算比	債務負担行為 (追加・変更)
一般会計 (A)	166,078	1,170	167,248	102.1	1,910
特別会計 (B)	113,273	70	113,343	100.1	
企業 会計 (C)	病院事業	17,180	17,180	100.0	1,508
	水道事業	14,634	42	100.3	77
	下水道事業	21,592		100.0	
全会計 (A+B+C)	332,757	1,282	334,039	101.1	3,495

# 活動日記



7/22  
四国航空労働組合  
第44回 定期大会



8/5  
四国電労 本店支部  
家族ふれあい行事 女木島



8/6  
木太地区  
第23回 あまから水祭り



8/11  
地方議員研究会セミナー  
「データで読み解く人口減少対策」



8/14  
高松市  
第52回さぬき高松まつり総おどり



8/20  
ユーアイ・KAKKIN・民社協会  
四国ブロック拡大会議・研修会



9/3  
ライオンズクラブ  
献血推進研究会



9/10  
木太地区  
第48回バレーボール大会



9/16  
高松市  
姉妹・親善都市と交流都市の観光と物産展



9/30  
UAゼンセン香川支部  
第6回定期総会



10/3  
高松市  
戦争犠牲者追悼式



10/6  
四国ドック労働組合  
第57回定期大会

発行:大西さとし後援会

<http://www.ohnishi-satoshi.jp>

◆後援会連絡所

〒761-8550

高松市室新町 973-1 高松電気ビル 5階

TEL(087)880-7772 FAX(087)880-7783

◆後援会事務所

〒760-0080

高松市木太町 1849-1-602

TEL 090-8696-1730

